

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22057	事業名	地域の学び推進事業		評価分類	A1	
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署	
	施策体系	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	05:学びによる生きがいの創出			款	10:教育費	
		施策の方向	01:地域課題の解決に生かせる学びの展開			項	05:社会教育費	
重点プロジェクト	01:「健都さぶり+」プロジェクト		目	03:公民館費				
事業期間	H 29 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		-				

部	教育委員会事務局
課	生涯学習課 社会教育G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	令和元年度から、かめやま人キャンパスを核として、学びの循環による人材育成を展開しており、持続的な地域づくりを推進するためには、地域課題に取り組む人材の育成が不可欠である。	市民	市民一人ひとりが学びを通して新たな生きがいを得るとともに、学びの成果を生かして地域課題の解決に取り組むことで、持続的な地域づくりを推進していく。	公民館においては、学びの入り口として、市民ニーズにあった多種多様な講座を実施する。かめやま人キャンパスにおいては、3年を1期とした実践的な学習カリキュラムを通して、地域課題に取り組む「かめやま人」の育成を行うとともに、「かめやま人」に対する活動の支援を行う。また、学びの情報の一元的な発信や、ICT等を活用した誰もが参加できる学びの環境の整備を行う。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○かめやま人キャンパス講座の実施 ○公民館講座の実施 ○亀山学びのガイドブックの発行 ○学びの環境の整備	○かめやま人キャンパス講座の実施 ○公民館講座の実施 ○亀山学びのガイドブックの発行 ○学びの環境の整備	○かめやま人キャンパス講座の実施 ○公民館講座の実施 ○亀山学びのガイドブックの発行 ○学びの環境の整備	○かめやま人キャンパス講座の実施 ○公民館講座の実施 ○亀山学びのガイドブックの発行 ○学びの環境の整備	
	活動実績 (計画通り実施できたか)	中央公民館講座等及びかめやま人キャンパス講座を実施し、学びの機会を提供した。 ○中央公民館活動事業 ・中央講座の開催 82回 ・出前教室の開催 119回 ○かめやま人キャンパス展開事業 ・かめやま人キャンパス講座の開催 開催数 19回 かめやま人認定者 7人				
計画額	事業費	16,400千円	16,400千円	16,500千円	16,500千円	
		国・県支出金				
		地方債				
		その他	820千円	820千円	820千円	820千円
決算額	事業費	15,580千円	15,580千円	15,680千円	15,680千円	
		国・県支出金				
		地方債				
		その他	423千円			
①期間内事業費(R4-7)		65,800千円	②期間外事業費(R8-)	-	①+②総事業費	-

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	16,300千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	高等教育機関と連携した講座数	活動	講座	計画値	4	5	6	7
				実績値	3			
生涯学習講座 受講者数	公民館・かめやま人キャンパス・行政出前講座等の受講者数	成果	人	計画値	10,000	12,000	14,000	16,000
				実績値	2,263			
				計画値				
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	コロナ禍においても、感染症対策を徹底し、学びの場を提供したことにより、かめやま人キャンパスでは、「森と水の守り人」、「まちのくらし人」、「まちの歴史人」の各養成講座を修了者7名をかめやま人として認定するなど、学びを通じた生きがいづくりと、地域課題の解決に取り組む人材の育成・確保につなげることができた。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市民	市民一人ひとりが学びを通して新たな生きがいを得るとともに、学びの成果を生かして地域課題の解決に取り組むことで、持続的な地域づくりを推進していく。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	かめやま人の今後の活動を支援するため、行政関連部署や各関係団体と連携するとともに、かめやま人キャンパスの諸活動の発信を行う必要がある。また、令和5年度より第2期かめやま人キャンパスとして、2つのコースを開講することから、各講座の内容の更なる充実を図っていく必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性
	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容
	令和5年度で対応する(した)もの かめやま人の認定を受けた方を対象にフォローアップ講座を開催するとともに、行政関連部署や各関係団体と連携しやすい土壌を形成するため、かめやま人キャンパス自体や、かめやま人の活動を周知していく。
	令和6年度以降で対応するもの かめやま人認定者のフォローアップを継続して行うとともに、各講座の充実を図る。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【履歴】	成果判定	A		
	事業展開	継続(現状維持)		

1次評価者	教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育GL 高重 京子
最終評価者	教育委員会事務局 生涯学習課長 落合 努